



祝 第90回中之島メーデー

労働者の団結と主張の場

あいにくの空模様の中、5月1日（水）に第90回中之島メーデーが中之島公園・剣先広場で行われ、大阪支部から250名が参加し、総勢800名の仲間が結集した。

第90回中之島メーデー集会は、大阪全労協の但馬議長のシュプレヒコールから開会した。

まず、特別報告として沖縄から安次富浩さん（へり基地反対協議会）から、辺野古のたたかいの報告と、「沖縄ではオール沖縄でたたかっている、大阪でも党派の枠を超えてたたかい、この大阪から維新や安倍政権を叩きつぶそう」と話された。続いて、来賓として、大阪労働者弁護団・しないさせない戦争協力ネットワーク・天皇代替わりに異議あり関西連絡会・立憲民主党・社民党・新社会党・みどりの党・無所属議員の方がたからあいさつがあった。

争議報告では、全日建連帯から武洋一書記長が関生支部への不当

弾圧に対し抗議のアピールがなされた。

大阪支部からは樋口委員長が、22年ぶりに平日に行われた4月14日（日）～15日（月）の48時間ストライキの報告がなされた。続いて大阪メトロ・連帯ユニオンゼネラル支部・JAL争議団・MK運輸・全国一般・YMCA・大阪教育合同・郵政ユニオンと多くの仲間からのアピールがあった。

最後に、全日建連帯近畿地本垣沼委員長から、「天皇代替わりや改元に惑わされず、5月1日は、われわれ労働者が団結する日であることを忘れずに、がんばっていきましょう」とあいさつされ、団結ガンバローの後、西梅田までデモ行進を行った。



日本のメーデーは、第1回メーデーが1920年5月2日（日）上野

公園で開催され、およそ1万人の労働者が「8時間労働制の実施」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えた。翌年から5月1日に開催するようになり、開催地や参加人数も増えた。しかし、1936年「2・26事件」が起こり、戒厳令が敷かれ、治安維持を目的にメーデーは禁止された。この年から日中戦争の激化などで第2次世界大戦の敗戦まで行われることがなかった。

近年、メーデーを5月1日に行わない労働組合もあり、メーデーは「労働者の団結と主張の場」から、かけ離れてきた感が否めない現状がある。しかし、中之島メーデーに参加する私たちは、労働者の地位の向上や人権や労働基本権の確立、民主主義を勝ち取るために、毎年5月1日には「中之島メーデー」に結集しよう。

（執行部 川村和美）

青年部 だより

青年部沖繩平和行進事前学習会に参加しました。

開会あいさつに青年部部长 林さんから始まり、講師に小林書記長を向かえていろいろな話を聞かせてもらいました。

僕自身、沖繩の今の現状や辺野古基地問題をあまりわかっていないこともあり、なぜ基地を作ってはいけないのか、沖繩が今後どのようになっていくのかを、どこか他人事のように感じていました。けれども、今回小林書記長の講義を聞かせてもらい「他人事ではなく自分に置き換えて考えていかなければいけない問題だ」とすごく

沖繩平和行進事前学習会

感じました。

僕が講義の中で印象に残った話は、日米地位協定の話です。この日米地位協定というのは、すごく不公平なんだと思いました。

2016年5月に沖繩うるま市で起きた元海兵隊の男性による女性暴行殺害事件。この事件の背景にも、世界的に見ても特殊で不平等な日米地位協定の存在があり、容疑者は日米地位協定に守られた特別な外国人であって、一般の在日外国人が起こした犯罪とは、全く次元が異なる米軍の特権的立場があるからこそ、これまでも同種の事件が後を絶たなかったのだと感じました。この事件では、日本の警察が先に容疑者の身柄を拘束したため地位協定は特に捜査の壁には

ならなかったそうなのですが、もし容疑者が先に米軍基地に逃げ込んでいたならば、そのまま身柄は引き渡されていない可能性があったらいいのです。

このように、一方的にアメリカに特権を与えている内容になっている日米地位協定があっては、今後も米兵による事件・事故が減る事はないのではないかとあらためて感じました。

私は今回、沖繩平和行進に参加をしません、いつか自分も参加させてもらい、同じ日本人として沖繩が住みよく明るい未来のために頑張りたいと思えた沖繩平和行進事前学習会でした。

(大正埠頭分会 芳野 栄次)

日鉄日新海運分会 (旧月星海運分会)

分会30周年を記念して

月星海運分会は1989年5月14日に9人の先輩方が結集し、全日本港湾労働組合関西地方大阪支部にて結成されました。今年、記念すべき30周年を迎えることができました。

本年5月12日(日)、道頓堀ホテルにて、ささやかではありますが謝恩会をしました。謝恩会には分会結成当時から、組合活動や日頃仕事などでもお世話になっている分会や、支部執行部のみなさん、現在は関西地方本部で活動されている大野進執行委員長にも参

加いただきました。参加者は当該分会員を合わせて27名でした。謝



恩会では参加いただいたみなさんに、エピソードやメッセージを話していただき、いろいろと語り合える場になれたと思います。

当分会は現在、5人の分会員で

活動しています。この間、私たちの働く鉄鋼業界の環境は変わり、最近では新日本製鉄と住友金属工業が合併し日本製鉄となり、私たちの荷主で親会社である日新製鋼も2019年1月1日付で日本製鉄の完全子会社となりました。

社名も4月1日より「日鉄日新製鋼」と変わり、私たちの働いている月星海運も同時に「日鉄日新海運」と社名変更し、分会名も「日鉄日新海運分会」としました。今後も鉄鋼業界再編の余波に伴ない、私たちの労働環境や労働条件に、困難が起こるかわかりませんが、大阪支部の旗の下に、次の40周年を目指していきますので、今後ともよろしく願います。

日鉄日新海運分会 日高 昌幸